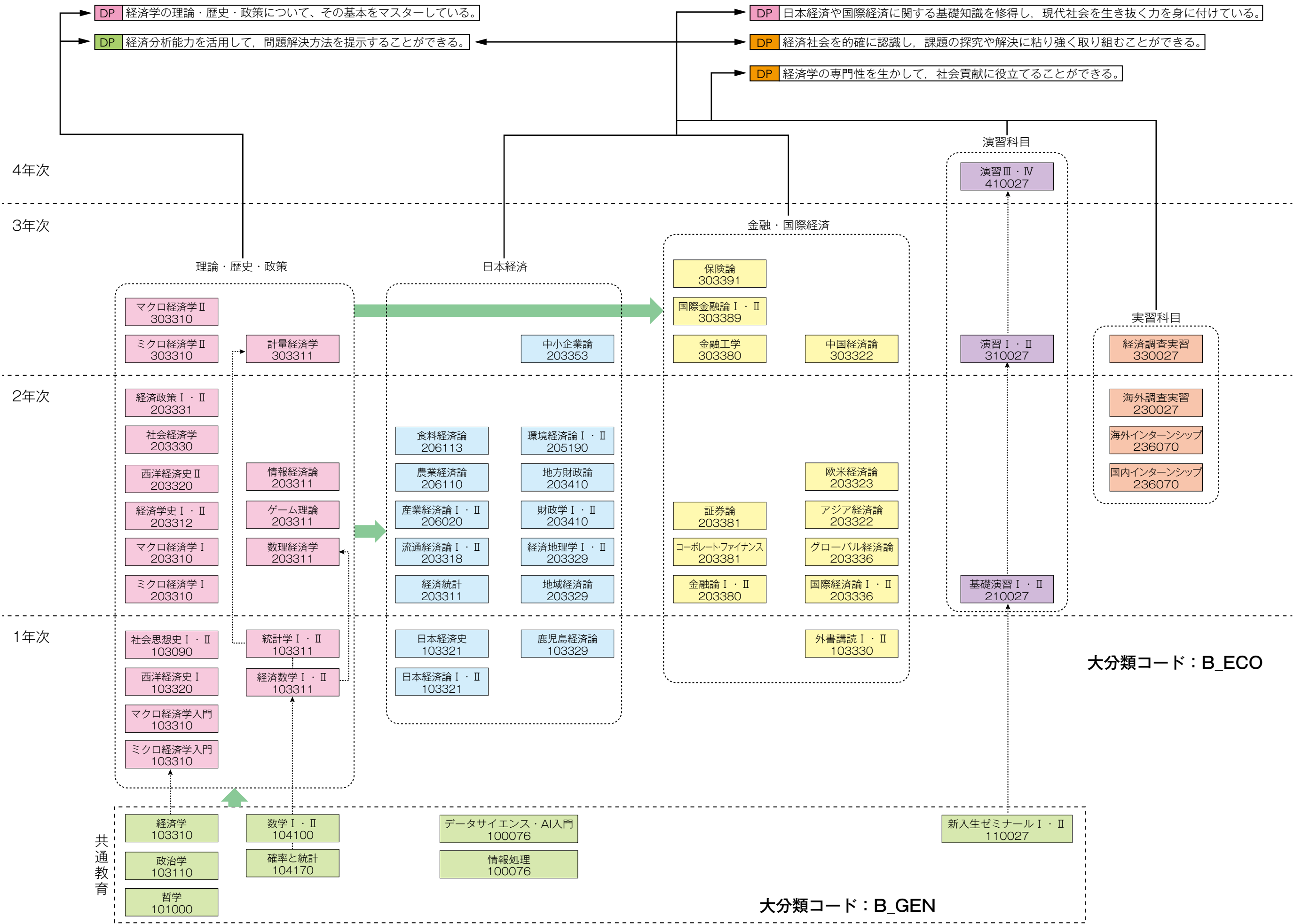
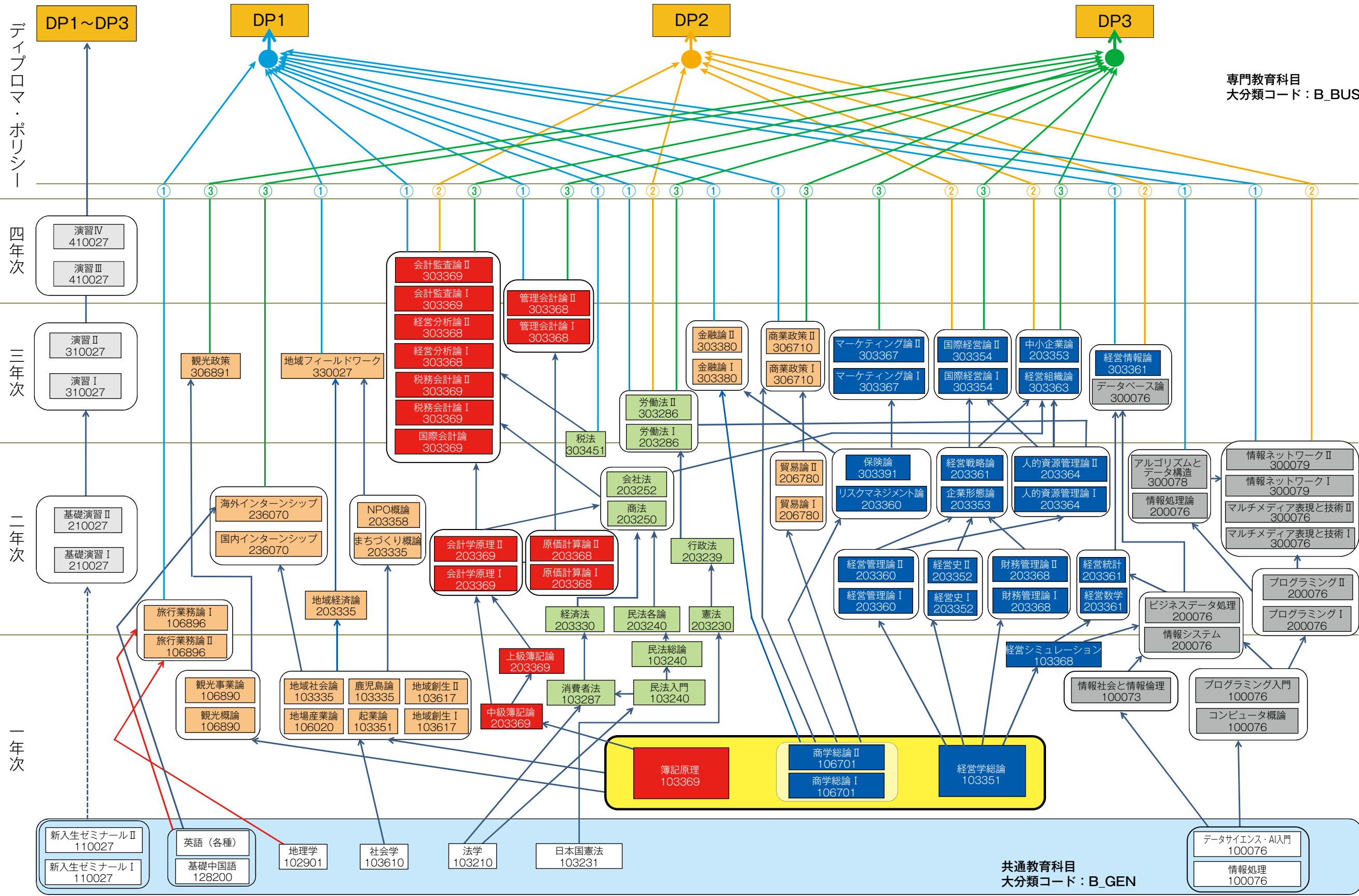


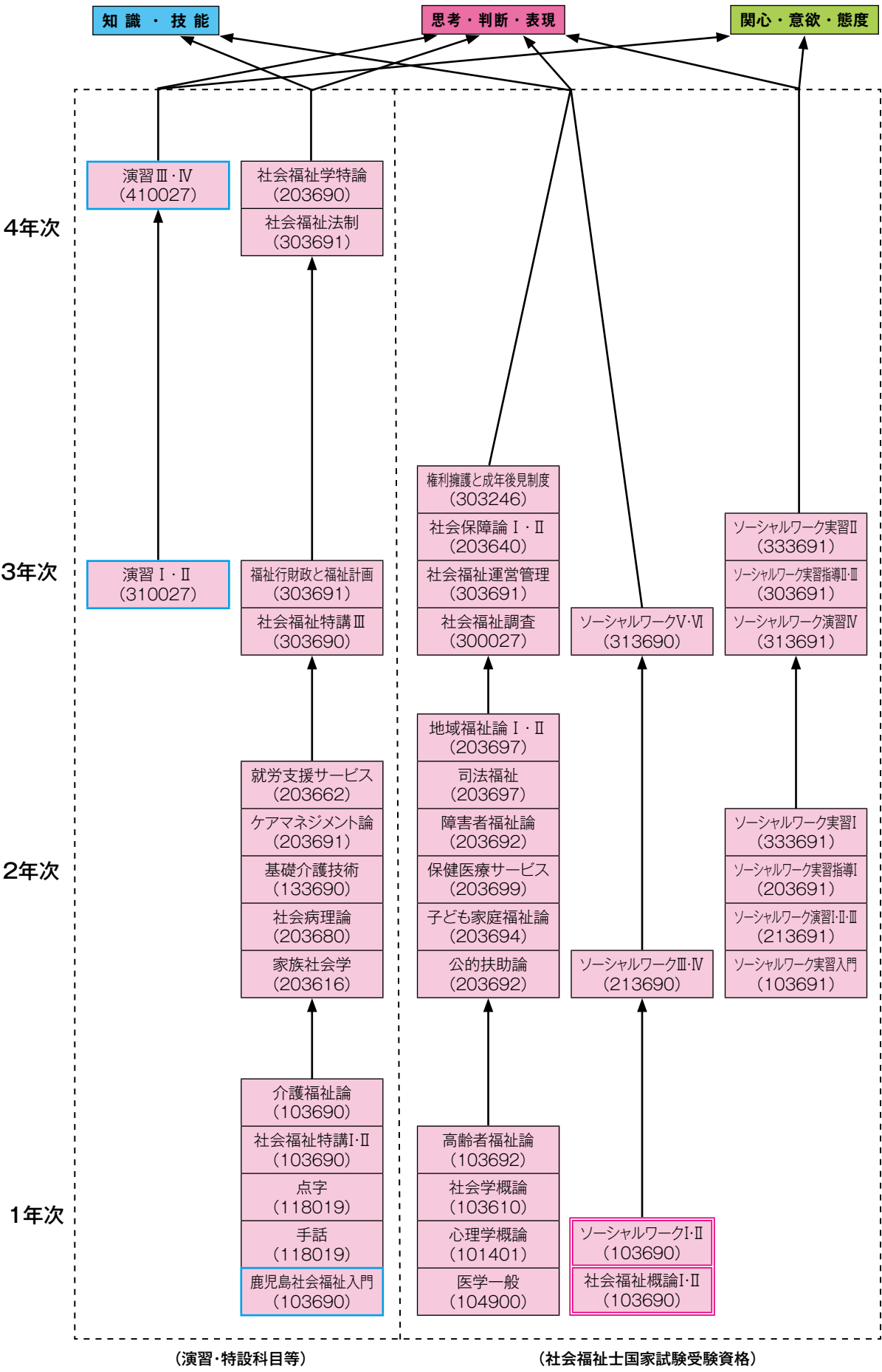
経済学科カリキュラムマップ



経営学科カリキュラムマップ



社会福祉学科カリキュラムマップ



社会福祉学科卒業所要単位と関わる科目群

大分類コード: B_WEL

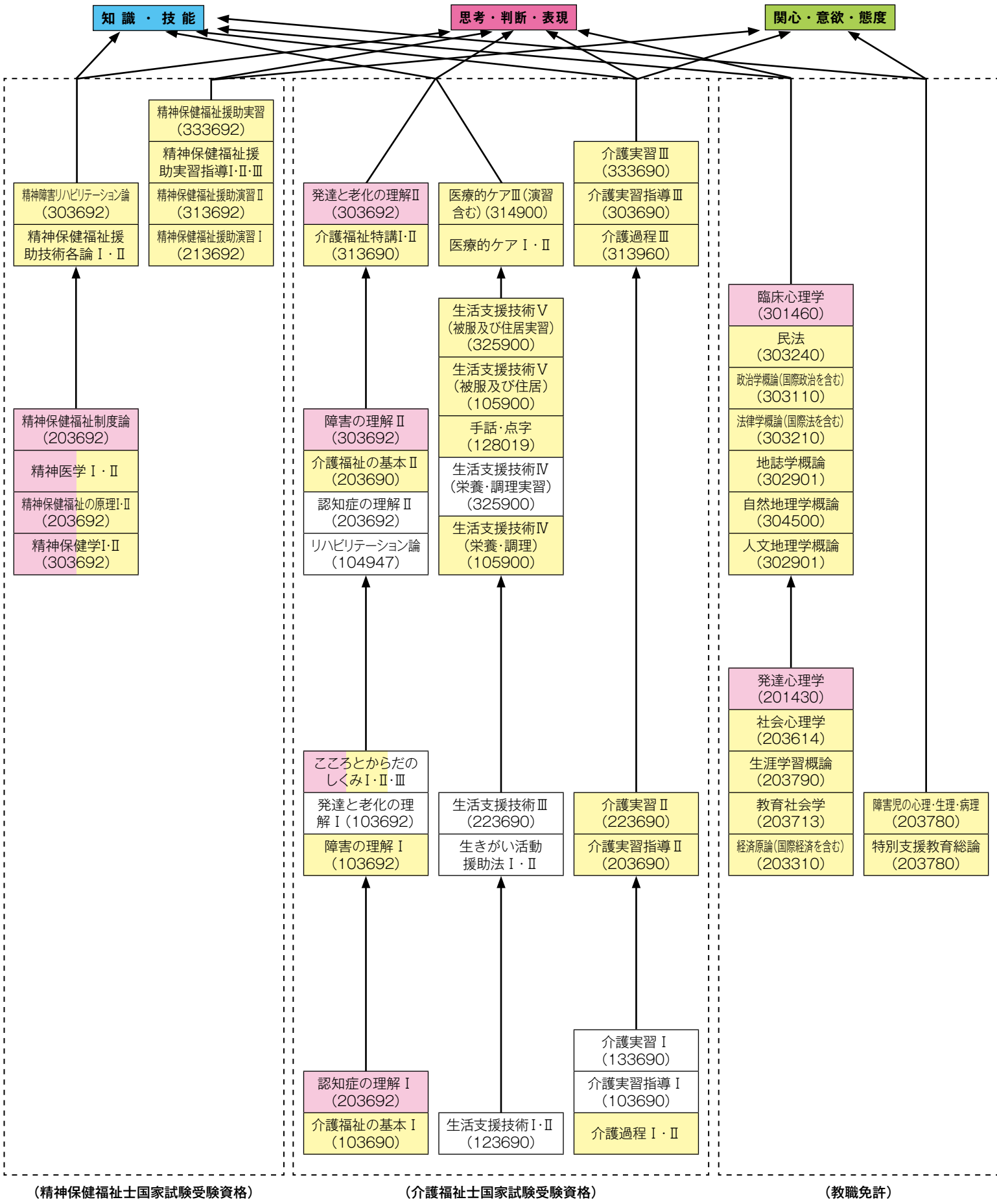
学科基本科目

必修

履修指定

学科発展科目

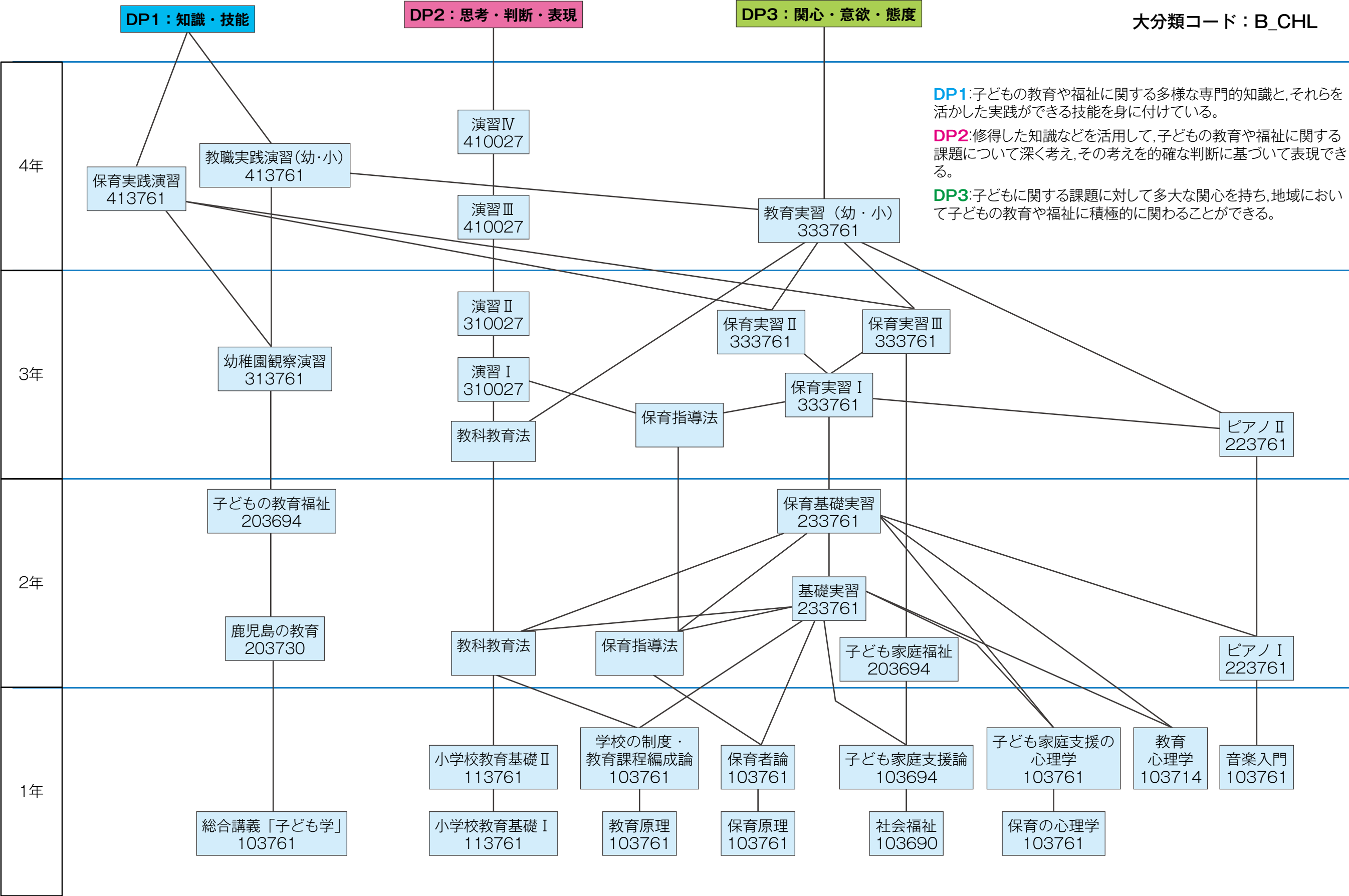
自由科目



「ダブル資格」と関わる科目群

DP1: 幅広く深い教養と豊かな人間性を持ち、社会福祉の専門的な支援をするために必要な知識と対人支援の技能を修得している。
DP2: 社会的な支援を必要とする人々にとって必要な支援を考え、支援の方策を立案し、適切に説明することができる。
DP3: 地域社会の問題や社会的な支援を必要とする人々に関心を持ち、改善を目指して個人や社会に働きかける意欲を身に付けている。

児童学科カリキュラムマップ



国際文化学科カリキュラムマップ

大分類 B_GEN

大分類 B_INT

共通教育科目

学部基本科目

学科基本科目

コース科目

他コース科目
インターンシップ

スキルアッププログラム

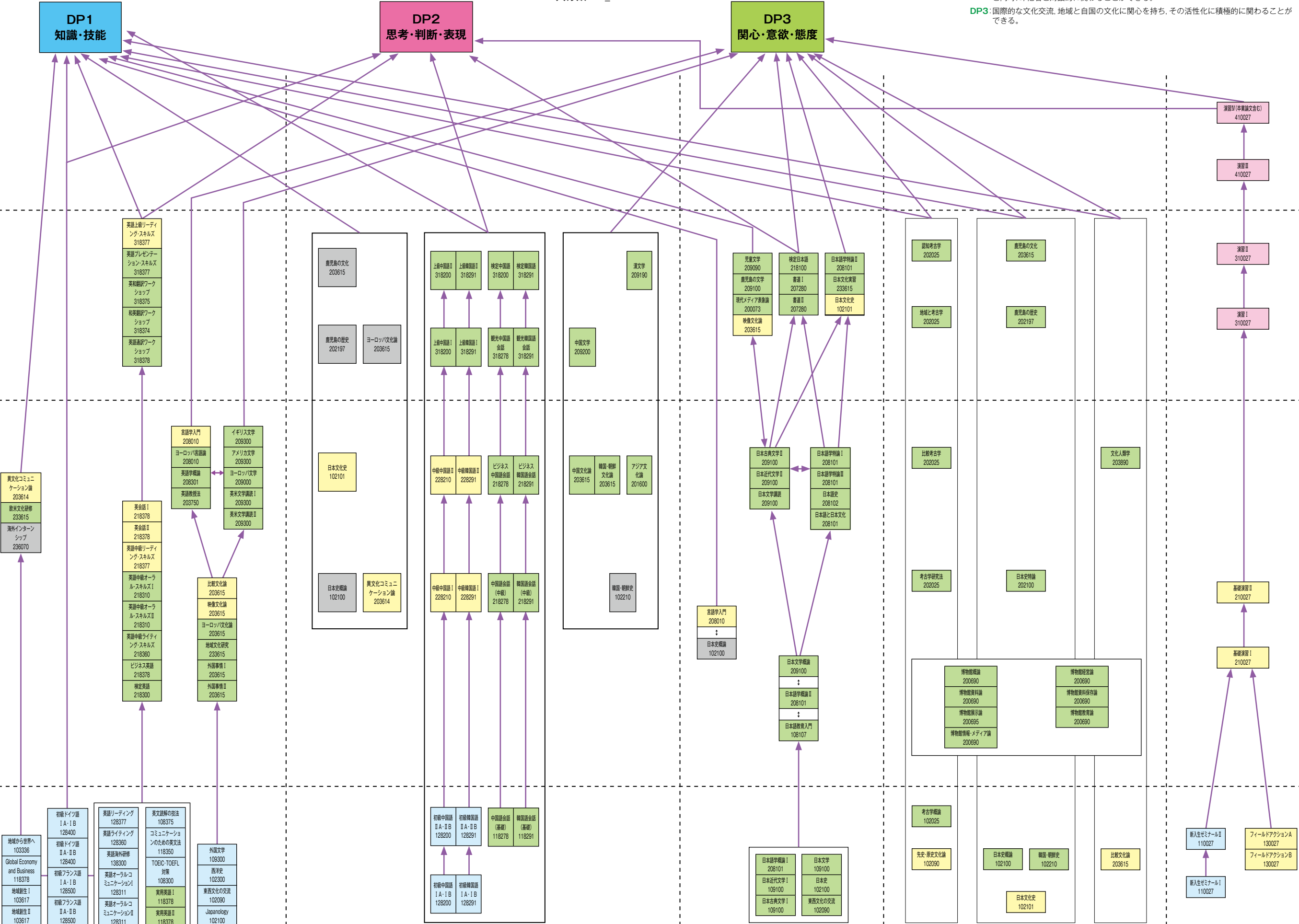
- DP1:異文化理解に必要な自国と他国についての知識と教養を身に付けている。
- DP2:修得した知識、能力などを活用して自分の考えを論理的、説得的に述べることができると同時に、他者と対話的に関わるができる。
- DP3:国際的な文化交流、地域と自国の文化に関心を持ち、その活性化に積極的に関わるができる。

4年次

3年次

2年次

1年次



※ 中国語選択と韓国語選択は語学の場合、縦の線に沿って選ぶ。

〈英語・欧米文化コース〉

〈アジア言語・文化コース〉

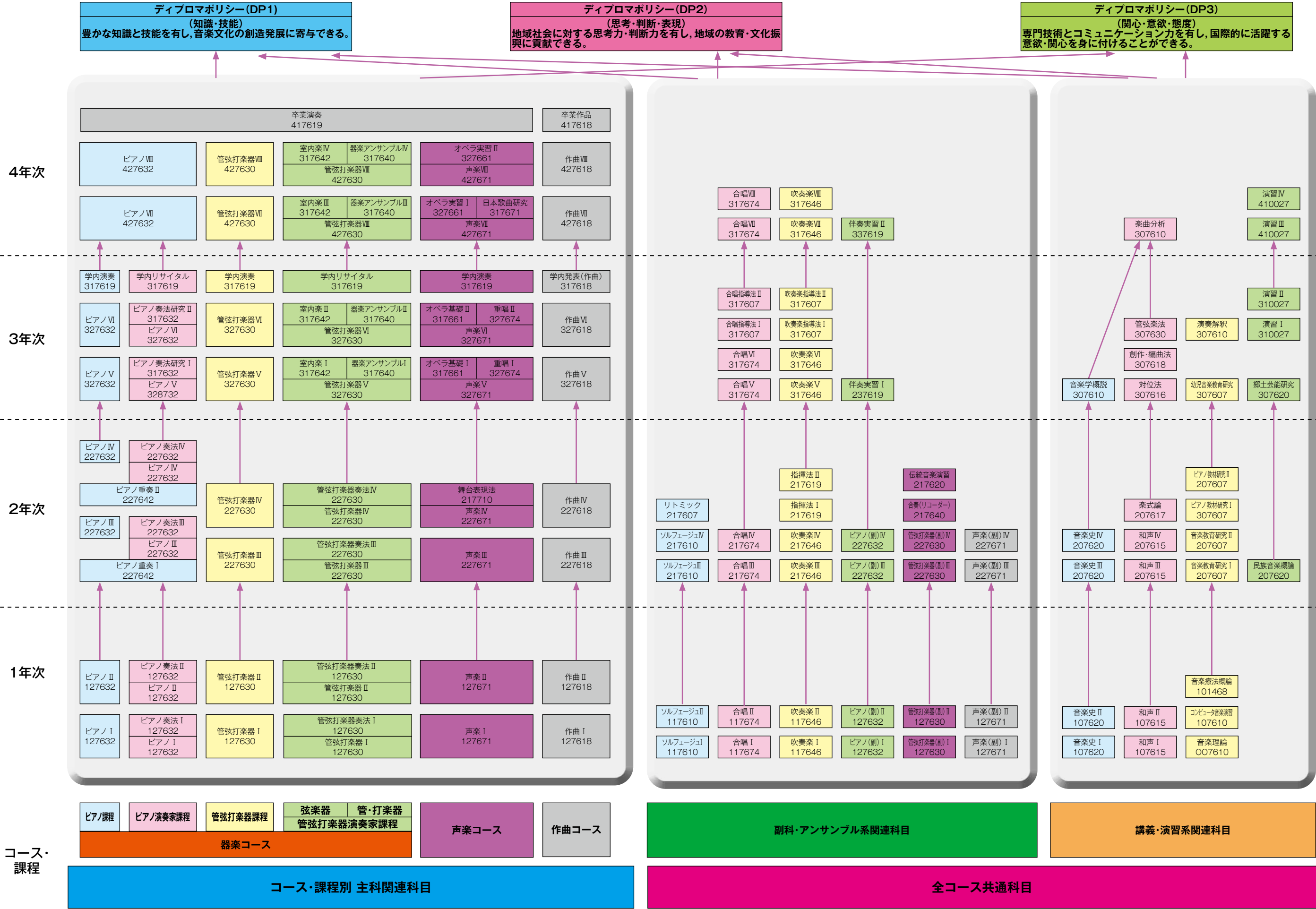
〈日本語・日本文化コース〉

〈考古・歴史コース〉

全コース共通

音楽学科カリキュラムマップ

大分類 B_MUS



看護学科カリキュラムマップ

学部横断科目

学修成果評価の重要科目

総合実践能力評価の重要科目

* () は国際看護・保健に関するコマ数を示す

【人材養成像】いのちをととび、はぐみ、つなぐことを基本姿勢とし、人々が地域において健康的な暮らしを営めるように、よりよい健康課題の解決法を探究しつつ取り組むことができる看護職

カリキュラム・ポリシー	主要概念	科目群	1年次		2年次		3年次		4年次		ディプロマ・ポリシー	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
CP9 初年次から、多文化について学び国際的視野を養うとともに、「暮らし探索フィールドワーク」等により人々の地域での暮らしに関心をもてるようにし、社会に貢献する看護を様々な視点から探究する「卒業研究」に発展できるように編成します。	看護	看護探究科目	共通教育科目 新入生ゼミナール		暮らし探索 フィールドワーク						【総合的な看護実践能力】	
CP8 実習では、最初に「既修得理論・技術」の学習の時間を設けます。また、実習後には、実習内容を整理・統合する「実践と理論の統合」の時間を設け、看護の役割の明確化と自覚を高めるとともに、自身の看護実践を説明可能なものできるように構成します。			共通教育科目(再掲) 【人間教育科目】 日本文学 外国文学 音楽文化論 日本史 西洋史 東洋史 東西文化の交流 地域創生Ⅰ・Ⅱ Japanology 地域から世界へ かごしま敬愛プログラム かごしまフィールドスクール 海外インターンシップ 【コミュニケーションスキルズ科目】 英語オーラル・コミュニケーションⅠ・Ⅱ 英語海外研修 英語リーディング 英語ライティング 英文読解の技法 Global Economy and Business 基礎中国語Ⅰ・Ⅱ 基礎フランス語Ⅰ・Ⅱ 基礎ドイツ語Ⅰ・Ⅱ 基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ 韓国語海外研修		専門基礎科目(再掲) 地域社会論(前) まちづくり概論(前) 地域経済論 環境経済論Ⅰ(前) 環境経済論Ⅱ 文化人類学(前) 日本史特論 鹿児島県の歴史(前)		看護研究		卒業研究Ⅰ			
			CP7 看護実践能力育成科目群は、保健師と看護師の役割を統合して果たせる実践能力を育成するために、対象の健康レベルを枠組みとして、健康な人を対象とする健康増進看護、健康障害を有する人を対象とする健康回復看護、さらに長期療養を必要とする人を対象とする長期療養生活看護として編成します。また、多職種とのチームケア能力を育むために他学部学生と学ぶ時間を設けた地域包括チームケア論や災害支援論などの発展科目も配置します。	健康増進看護総論Ⅰ(再掲) * (2)		健康増進ケア論Ⅰ(再掲) * (1)		健康増進ケア論Ⅲ(再掲) * (2) 健康増進ケア論Ⅳ(再掲) * (2)		卒業研究Ⅱ		
				看護学概論(再掲) * (2)						<DP8> 看護キャリア発達論 * (4)		
CP6 「生活機能援助論」は、基礎看護技術と専門領域の技術を統合して教授します。そして、対象の健康状態や出現症状を適切にアセスメントし、援助技術を考案・実施・評価することにより、どのような場においても対象に必要な援助を自ら判断し提供できる看護実践能力を育む構成とします。		看護実践能力育成科目			成人健康回復ケア論Ⅱ 成人健康回復ケア論 老年健康回復ケア論 精神健康回復ケア論 在宅健康回復ケア論		<DP4・5・6・7>		在宅健康回復ケア論実習			
					成人健康回復ケア論 成人老年健康回復ケア論 精神・在宅健康回復ケア論		健康増進ケア論実習 成人健康回復ケア論実習Ⅰ 成人健康回復ケア論実習Ⅱ 精神健康回復ケア論実習		在宅健康回復ケア論実習Ⅱ			
			健康回復過程論 Ⅰ急性・回復期・治療過程における看護 Ⅲ人生末期のとき・外来通院 Ⅱリハビリ期・慢性期の看護		健康増進看護総論 Ⅰ急性・回復期・治療過程における看護 Ⅲ人生末期のとき・外来通院 Ⅱリハビリ期・慢性期の看護		健康増進看護総論 Ⅰ急性・回復期・治療過程における看護 Ⅲ人生末期のとき・外来通院 Ⅱリハビリ期・慢性期の看護					
			健康回復看護総論		健康増進看護総論 Ⅰ地域保健 Ⅱ成人保健 Ⅲ成人老年保健 Ⅳ精神保健		健康増進看護総論 Ⅰ急性・回復期・治療過程における看護 Ⅲ人生末期のとき・外来通院 Ⅱリハビリ期・慢性期の看護					
CP6 「生活機能援助論」は、基礎看護技術と専門領域の技術を統合して教授します。そして、対象の健康状態や出現症状を適切にアセスメントし、援助技術を考案・実施・評価することにより、どのような場においても対象に必要な援助を自ら判断し提供できる看護実践能力を育む構成とします。		看護実践コア科目	生活機能援助論 Ⅰ：安全をまもる機能 Ⅱ：生きるを支える機能 Ⅲ：食物・水分摂取を支える機能 Ⅳ：排泄・排便を支える機能 Ⅴ：動くを支える機能 Ⅵ：休むと情報交換を支える機能 Ⅶ：子どもを産み育てることを支える機能 Ⅷ：救命救急・診療の補助 Ⅸ：在宅展開・事例展開		<DP3> 看護展開 基礎実習 看護展開基礎論							
					看護学概論 援助関係論		家族看護論 看護倫理					
CP5 初年次から、「生活機能援助論」を開講し、看護への関心を専門職としての知識・スキル・態度の修得に方向づけ、主体的な学習態度を修得できるように配置します。			健康	看護への招待		いのちと看護		<DP1> 人間と看護		<DP2> 暮らしと看護 健康と看護		
						看護学概論 援助関係論		家族看護論 看護倫理				
看護への招待		いのちと看護		<DP1> 人間と看護		<DP2> 暮らしと看護 健康と看護						
		看護学概論 援助関係論		家族看護論 看護倫理								
CP4 学生が看護職としての専門性を築きつつ、着実に看護実践能力を修得できるように、学生の意欲・関心を起点とし、それらを拡大発展できるように授業科目を配置します。		暮らし	看護への招待		いのちと看護		<DP1> 人間と看護		<DP2> 暮らしと看護 健康と看護			
					看護学概論 援助関係論		家族看護論 看護倫理					
看護への招待			いのちと看護		<DP1> 人間と看護		<DP2> 暮らしと看護 健康と看護					
			看護学概論 援助関係論		家族看護論 看護倫理							
CP3 1～2年次には、キャリア教育を含む幅広い総合的な内容からなる共通教育科目とともに、主要概念に基づく看護構想科目群を主体的に学び、豊かな人間性を有する自律した医療人としての基礎を育む構成とします。	人間	看護への招待		いのちと看護		<DP1> 人間と看護		<DP2> 暮らしと看護 健康と看護				
				看護学概論 援助関係論		家族看護論 看護倫理						
看護への招待		いのちと看護		<DP1> 人間と看護		<DP2> 暮らしと看護 健康と看護						
		看護学概論 援助関係論		家族看護論 看護倫理								
CP2 全開設科目を、看護構想、看護実践コア、看護実践能力育成、看護探究の科目群に分類し、体系的に編成します。	いのち	看護への招待		いのちと看護		<DP1> 人間と看護		<DP2> 暮らしと看護 健康と看護				
				看護学概論 援助関係論		家族看護論 看護倫理						
看護への招待		いのちと看護		<DP1> 人間と看護		<DP2> 暮らしと看護 健康と看護						
		看護学概論 援助関係論		家族看護論 看護倫理								
CP1 人材養成像を基に、保健師と看護師の役割を統合して果たせる看護職を養成するためのカリキュラムの主要概念を「いのち」「人間」「暮らし」「健康」「看護」とし、教育科目を設定します。	ディプロマ・ポリシー	看護への招待		いのちと看護		<DP1> 人間と看護		<DP2> 暮らしと看護 健康と看護				
				看護学概論 援助関係論		家族看護論 看護倫理						
看護への招待		いのちと看護		<DP1> 人間と看護		<DP2> 暮らしと看護 健康と看護						
		看護学概論 援助関係論		家族看護論 看護倫理								
アドミッション・ポリシー			(知識・技能) AP1 看護学を学ぶ上で必要な基礎学力及び対人関係能力を有する人。		(思考力・判断力・表現力) AP2 身近な問題を多角的・論理的に考え、説明できる人。 AP3 自身の体験したことを振り返り、他者が理解できるように説明できる人。		(関心・意欲・態度) AP4 いのちをとうとび、はぐみ、つなぐことに関心をもち、これを専門的に学ぶことに意欲のある人。 AP5 看護に必要な知識、スキル、態度を身につけることに熱心で、それらを発展させる意欲のある人。 AP6 地域に愛着をもち、地域のよりよい医療看護の発展に貢献したい意欲のある人。					